

研究課題名	深鎮静管理を行った COVID-19 患者の筋弛緩薬使用群と対照群の筋肉量減少について CT を用いた後方視的検討
研究実施機関名および研究責任者	さいたま赤十字病院高度救命救急センター 専攻医 市川 遊理
研究代表施設および研究代表者	さいたま赤十字病院高度救命救急センター 専攻医 市川 遊理
研究期間	研究承認日～2025 年 3 月 31 日まで
研究の目的と意義	筋弛緩薬は筋力低下の危険因子といわれており、使用が制限される。しかし、深鎮静管理中における筋弛緩薬の使用が筋肉量低下に与える影響は明らかでない。当院 ICU に入院した深鎮静管理を行った重症 COVID-19 患者に対し、筋弛緩薬を使用した群と対照群を比較し、入院時の CT とフォロー CT にて大腰筋面積を自動測定することにより、筋肉量減少率について評価する。
本研究の対象となる方	当院 ICU に 2020 年 1 月 1 日～2023 年 7 月 31 日までに入院した COVID-19 の方
提供していただく情報	年齢、性別、既往歴、治療内容、身長、体重、CT 検査、検査情報など
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	研究実施に関わる情報を取り扱う際にはあらかじめ患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外に漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院高度救命救急センター 氏名：市川 遊理 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111 モバイル番号：41875